



JFRL 情報宅配

* 農林水産省 * (<https://www.maff.go.jp/>)

1. [第 114 回コーデックス連絡協議会が開催されました] (令和 6 年 11 月 7 日開催 消費・安全局食品安全政策課国際基準室)
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/114.html>
2. [日本の「食文化」をめぐる情勢を更新しました] (令和 6 年 11 月 13 日 大臣官房 新事業・食品産業部)
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gaishoku_shokubunka/index.html#syokubunkameguji
3. [世界の超長期食料需給予測に関する国際シンポジウムの開催について] (令和 6 年 11 月 5 日 大臣官房政策課食料安全保障室)
<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/241105.html>
4. [BSE に関する飼料規制について] (令和 6 年 10 月 3 日 消費・安全局畜水産安全管理課)
牛、めん羊、山羊由来肉骨粉の豚及び鶏用飼料への利用が再開されました。
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/siryo/bse.html>

* 厚生労働省 * (<https://www.mhlw.go.jp/>)

1. [第 3 回健康日本 21 (第三次) 推進専門委員会議事録 (2024 年 10 月 8 日開催)] (令和 6 年 11 月 18 日 健康・生活衛生局 健康課)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_45592.html

* 消費者庁 * (<https://www.caa.go.jp/>)

1. [「令和 6 年度消費生活意識調査」の結果について] (参事官(調査研究・国際担当))
 - ・ 第 2 回 (2024 年 10 月 24 日) テーマ: 食品ロス <https://www.caa.go.jp/notice/entry/039793/>
 - ・ 第 3 回 (2024 年 11 月 7 日) テーマ: エシカル消費 <https://www.caa.go.jp/notice/entry/039947/>
2. [食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について] (消食基第 282 号 令和 6 年 11 月 5 日 消費者庁次長)
二炭酸ジメチルの保存基準の改正ほか
https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/food_additives/assets/cms_standards102_241105_03.pdf
3. [令和 6 年度第 1 回食品衛生基準審議会新開発食品調査部会 資料] (2024 年 11 月 18 日開催 食品衛生基準審査課 新開発食品保健対策室)
https://www.caa.go.jp/policies/council/fssc/meeting_materials/review_meeting_004/039977.html
4. [「令和 5 年度 特別用途食品(特定保健用食品を除く。)に係る栄養成分等、特定保健用食品に係る関与成分及び機能性表示食品に係る機能性関与成分に関する検証事業(買上調査)」の調査結果について] (2024 年 11 月 7 日 食品表示課 保健表示室)
<https://www.caa.go.jp/notice/entry/039782/>

* 環境省 * (<https://www.env.go.jp/>)

1. [「今後の食品リサイクル制度のあり方について(案)」に対する意見募集(パブリックコメント)] (2024 年 11 月 1 日 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室)
https://www.env.go.jp/press/press_03894.html

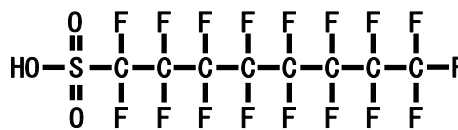
* 農林水産消費安全技術センター * (<http://www.famic.go.jp/>)

1. [令和 6 年度 JAS オンラインセミナー ～JAS から始まるルールメイカーへの道～]
 - 第 1 回「ルールメイキングに JAS を! ～国際標準化まで見据えた標準化戦略～」アーカイブ動画掲載
 - 第 2 回「ベジタリアン・ヴィーガン JAS ～ベジタリアンやヴィーガンの方の適切な商品選択のために～」開催案内http://www.famic.go.jp/syokuhin/jas/seminar_2024/

* 今月のトピックス *

[食品中の PFAS について]

PFAS とは有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称で、1 万種類以上の物質が存在します。代表的な PFAS として PFOS（右図）、PFOA、PFNA や PFHxS がよく知られています。PFOS、PFOA に関する飲料水の規制や総フッ素量の規制については、情報宅配第 243 号及び第 245 号にてご紹介しておりますので、ご参照ください。



PFAS は撥水・撥油性等の独特な化学特性から、様々な用途で使用されてきました。また、「フォーエバーケミカル」とも呼ばれ、自然界で分解されにくく、環境中に蓄積されやすいため、世界中に広く残留しています。

現在、日本国内において PFAS の食品への規制はありませんが、食物連鎖を通じて、人の健康に影響を及ぼす可能性が指摘されており、農林水産省は PFAS を優先的にリスク管理を行うべき有害化学物質の一つとして位置付けています。2024 年度には、国産農畜水産物の PFOS、PFOA、PFNA 及び PFHxS の 4 種類について含有実態調査が実施されます。この調査結果や諸外国の動向も踏まえて、国内での規制が見直される可能性も考えられます。

また、EU では食品についてもすでに規制が進んでおり、最大基準値が設定されています。

EU 規則 2023/915 による動物性食品中の最大基準値の一例 ($\mu\text{g/kg}$ wet weight)

対象食品	PFOS	PFOA	PFNA	PFHxS	合計
卵	1.0	0.30	0.70	0.30	1.7
魚筋肉 (乳幼児向け食品の製造を 目的する場合など)	2.0	0.20	0.50	0.20	2.0
甲殻類と二枚貝	3.0	0.70	1.0	1.5	5.0
牛、豚、鶏筋肉	0.30	0.80	0.20	0.2	1.3

弊財団では食品の PFAS 分析について以下のメニューをご用意しております。

お気軽にお問い合わせください。

項目名：パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)、パーフルオロオクタン酸 (PFOA)、パーフルオロノナン酸 (PFNA)、パーフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)

分析方法：液体クロマトグラフィー質量分析法



【参照ホームページ】 農林水産省 食品中の PFAS に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/PFAS/index.html>

☆お知らせ☆

< JFRL ニュースを発行しました (2024 年 10 月) >

8-1 タンパク質の検索～LC-QTOF/MS による異物検査への活用～ <https://www.jfrl.or.jp/information/2143>

< 講演会を開催します (名古屋) 参加お申込 受付中 >

開催日: 2024 年 11 月 29 日 (金) 13:50～ 場所: 中日ビル 中日ホール&カンファレンス Room1

是非ご参加ください。詳しくは <https://www.jfrl.or.jp/information/2148> をご覧ください。

< 講演会を開催します (東京) 参加お申込のご案内は 11 月下旬予定 >

開催日: 2025 年 1 月 21 日 (火) 場所: 渋谷区総合文化センター大和田 伝承ホール

基調講演は国立健康栄養研究所の先生をお招きし、食事摂取基準 2025 年の解説をしていただきます。

弊財団からは分析試験にかかわる時事問題として、食物繊維と PFAS を取り上げます。

< アグリビジネス創出フェア in 東海 に出展します >

会場展示 2024 年 12 月 5 日 (木) 13:00～17:00 場所: 名古屋大学 野依記念学術交流館

Web 展示 2024 年 12 月 5 日 (木) ～ 2025 年 1 月 17 日 (金)

東海生研 HP 内特設ページ: <https://www.biotech-tokai.jp/archives/7561>